



優しく話しかければ 優しく相手も答えてくれる

今年の学校生活も残すところ10日余りとなりました。12月は「師走」とも言われるように世の中全体が慌ただしくなる月ですが、このような時期だからこそ、落ち着いて生活することが大切になってきます。学校では、子どもたちに自分自身を振り返らせる時間を持たせながら、2学期と今年1年のまとめの指導をしていきたいと思ひます。

さて、12月の全校朝礼では、人権週間（12月4日～12月10日）にちなんで、金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩を紹介しました。「こだま」というのは、山の頂上から向かいの山に向かって「ヤッホー」と叫ぶと「ヤッホー」と返ってくる「やまびこ」のことです。人の場合も「こだま」と一緒に、こちらから優しい言葉をかけてあげると相手から優しい言葉が返ってきます。こちらから嫌な言葉をかけると相手からも嫌な言葉が返ってきます。だから、誰に対しても優しく接しましょうという意味だと思ひます。それでも、時には相手の嫌がることを言ってしまったり、けんかをしてしまったりすることもあるでしょう。そんな時には、金子みすゞさんの詩にあるように、「ごめんね」と言えてほしいです。きっと相手も「ごめんね」と返してくれることでしょう。

白山小学校の子どもたちの優しい言葉がこだまし、この白山小学校が優しい言葉であふれることを期待しています。

こだまでしょうか
金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。

「ばか」っていうと
「ばか」っていう。

「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで
さみしくなつて、

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

1948年12月10日の国際連合第3回総会において世界人権宣言が採択されたことを記念して、1949年に法務省と全国人権擁護委員連合会が12月10日を最終日とする1週間（12月4日～10日）を人権週間と定めました。この人権週間には、市内外で人権に関する様々な取り組みやイベントが開催されます。世界人権デーの12月10日は、日本だけでなく世界の色々なところでも「人権」について考える日にもなっています。



箏体験 低・中・高学年(12/5)



低学年チャレンジタイム(12/6)



人権擁護委員さん訪問(12/6)